

チリ

2022年8月30日

海外調査部・サンティアゴ事務所

2021年のチリ経済は、コロナ禍からの経済回復により、実質GDP成長率は前年比11.7%となり、中銀の統計データで過去最高を記録した。貿易は、輸出入ともに堅調な伸び率を示し、貿易黒字を維持したが、黒字幅は前年比で縮小した。2021年の対内投資案件総数は、前年比7.3%増の103件で、前年に引き続きエネルギー分野への投資が目立った。2022年3月、若き大統領を擁する左派政権が誕生し、長年にわたりチリの経済成長を支えてきた貿易と投資の自由化路線への影響について、注目が集まっている。

■貿易黒字は減少

2021年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比28.9%増の947億500万ドル、輸入は55.1%増の918億4,300万ドルだった。貿易収支は28億6,200万ドルの黒字で、前年に比べて黒字幅は縮小した。

輸出を品目別にみると、最大シェアの鉱産物が前年比39.3%増の607億3,500万ドルだった。これは世界的な新型コロナウイルス感染症の流行により、銅の国際価格の平均が前年比50.8%増の1ポンド4.23ドルと高値で推移したことによる。農林水産物は、5.6%増67億1,000万ドルで、果物輸出全体の30%を占めるサクランボが13.1%増となった。工業品は前年比15.9%増の272億5,900万ドルで、サーモンは22.3%増、ボトルワインは8.5%増となった。ボトルワインの輸出は2019年から2年連続で減少していたものの、2021年は増加に転じた。

輸入を品目別にみると、構成比の9割を占める工業品は54.2%増の830億3,900万ドルだった。木材・木製家具の輸入は2.4倍、金属製品・機械・機器類、電気機器類、輸送機器は50.9%増となった。これは、コロナ禍で停滞していた国内の消費活動の再活性化による

もので、エネルギー製品の石油やディーゼル油の輸入がそれぞれ85.6%増、55.7%増、耐久消費財の自動車やテレビが2倍以上に、衣類や履物も2桁増となった。

輸出を主要地域別にみると、アジア向けが構成比57.3%を占め最大となり、国別では、中国(38.8%)、米国(15.8%)、日本

表1 チリの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年 金額	2021年		2020年 金額	2021年		伸比率	
		金額	構成比		金額	構成比		
農林水産物	6,355	6,710	7.1	5.6	1,526	1,942	2.1	27.3
果物	5,703	6,024	6.4	5.6	227	348	0.4	53.4
鉱産物	43,604	60,735	64.1	39.3	3,848	6,863	7.5	78.4
鉄・銅	39,505	55,868	59.0	41.4	-	-	-	-
石炭・石油・天然ガス	-	-	-	-	3,282	5,850	6.4	78.3
工業品	23,526	27,259	28.8	15.9	53,853	83,039	90.4	54.2
加工食品類、飲料・アルコール類・たばこ	11,719	12,950	13.7	10.5	6,218	8,956	9.8	44.0
繊維・衣類・革製品	397	473	0.5	19.0	3,832	5,461	5.9	42.5
木材・木製家具	2,222	2,654	2.8	19.5	621	1,479	1.6	138.2
セルロース・製紙	2,656	3,263	3.4	22.8	929	1,260	1.4	35.7
基礎化学製品・石油派製品・ゴム・プラスチック	2,951	3,878	4.1	31.4	14,252	22,577	24.6	58.4
鉄・鉄鋼、非鉄基礎産業	964	1,513	1.6	56.9	1,847	3,405	3.7	84.4
金属製品・機械・機器類、電気機器類、輸送機器	2,441	2,326	2.5	△4.7	24,687	37,247	40.6	50.9
合計（その他含む）	73,485	94,705	100.0	28.9	59,226	91,843	100.0	55.1

(注) 輸出申告および輸入申告の数値を使用。

①：輸出額には、港での購入品が含まれる。

②：果実、鉱産物の輸出額は、一部推定値を含む。

③：中銀の統計では「農林水産物」に含まれる水産物は採取漁業によるもののみで、畜産物は工業製品に分類されている。

[出所] チリ中央銀行資料から作成

(7.7%)の順だった。欧州向けでは、スペイン、フランスへの銅関連製品の輸出が増加し、欧州全体で前年比15.8%増となった。米州は41.1%増で、米国、ブラジル向けは特にサーモンの輸出が増加した。

輸入を主要地域別にみると、米州からが構成比42.1%を占め最大だった。国別では中国(29.9%)、米国(17.4%)、ブラジル(8.4%)の順だった。米州からの輸入は前年比53.4%増で、米国やブラジルからのエネルギー製品の輸入増が目立った。アジアは66.3%増で、中国からは携帯電話、自動車、コンピューターの輸入が増加した。欧州は34.8%増だった。国内の新車販売台数の増加に伴って、日本、中国、韓国、フランスなどからの輸入が前年比で特に大幅に増加した。

■2022年はCPTPPの議論再開に期待

チリの2021年の通商協定による往復貿易カバー率は95.2%に達した。1月にはEUを離脱した英国との間で2国間FTAが発効した。11月には同FTAを近代化するための作業部会が設置され、2022年に本格的に議論が開始される予定となっている。また同月には、シンガポール、ニュージーランド、チリの3カ国間で結んだデジタル経済連携協定(DEPA)が国内で発

表2 チリの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	構成比	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率	
アジア	42,961	54.295	57.3	26.4	21,992	36.570	39.8	66.3
日本	6,374	7.252	7.7	13.8	1,235	2,189	2.4	77.2
中国	28,550	36.722	38.8	28.6	16,459	27,486	29.9	67.0
韓国	4,145	4.812	5.1	16.1	1,014	1,729	1.9	70.5
インド	774	1.278	1.3	65.3	718	1,263	1.4	75.9
欧州	9,495	10.996	11.6	15.8	9,907	13,355	14.5	34.8
EU27	6,916	8.351	8.8	20.8	8,561	11,326	12.3	32.3
ドイツ	1,044	1.067	1.1	2.1	2,299	2,967	3.2	29.1
スペイン	1,182	1.551	1.6	31.2	1,442	2,126	2.3	47.4
フランス	1,366	1.583	1.7	15.9	883	1,220	1.3	38.2
米州	20,009	28.235	29.8	41.1	25,234	38,707	42.1	53.4
米国	9,698	14.948	15.8	54.1	10,563	15,984	17.4	51.3
メルコスール	4,170	5.926	6.3	42.1	8,565	13,860	15.1	61.8
ブラジル	3,074	4.586	4.8	49.2	4,318	7,686	8.4	78.0
アルゼンチン	618	7.86	0.8	27.2	3,312	4,912	5.3	48.3
太平洋同盟	3,141	3.726	3.9	18.6	3,825	5,681	6.2	48.5
メキシコ	1,043	1.395	1.5	33.8	1,622	2,553	2.8	57.4
ペルー	1,514	1.638	1.7	8.2	1,098	1,730	1.9	57.6
合計(その他含む)	73,485	94.705	100.0	28.9	59,226	91,843	100.0	55.1

[注] 輸出申告および輸入申告の数値を使用。

①:メルコスールには、ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ウルグアイが含まれる。

②:太平洋同盟には、メキシコ、コロンビア、ペルーが含まれる。

[出所] チリ中央銀行資料から作成

表3 チリのFTA発効・署名・交渉状況

(単位:%)

FTA	発効日	チリの貿易に占める構成比(2021年)		
		往復	輸出	輸入
発効済み	中国、FTA深化協定(2019年3月発効)	34.4	38.8	29.9
	米国	16.6	15.8	17.4
	メルコスール〔経済補完協定(ACE35)〕	10.6	6.3	15.1
	EU27	10.6	8.8	12.3
	日本(EPA)	5.1	7.7	2.4
	太平洋同盟、追加協定書	5.0	3.9	6.2
	韓国	3.5	5.1	1.9
	インド、部分到達協定、拡張協定(2017年5月発効)	1.4	1.3	1.4
	カナダ、FTA深化協定(2019年2月発効)	1.3	1.2	1.3
	エクアドル〔経済補完協定(ACE65)〕	0.9	0.5	1.3
	ベトナム	0.9	0.3	1.4
	EFTA	0.8	1.0	0.5
	タイ	0.7	0.5	0.9
	英国	0.6	0.6	0.7
	ボリビア〔経済補完協定(ACE22)〕	0.6	1.0	0.2
	トルコ	0.5	0.3	0.7
	オーストラリア	0.4	0.4	0.5
	中米5カ国	0.4	0.5	0.2
	マレーシア	0.3	0.2	0.4
	インドネシア〔CEPA(包括的経済連携協定)〕	0.2	0.1	0.3
	P4(EPA)	0.2	0.1	0.3
	パナマ	0.2	0.2	0.1
	香港	0.1	0.0	0.1
	ベネズエラ〔経済補完協定(ACE23)〕	0.0	0.1	0.0
	キューバ〔部分到達協定(ACE42)〕、追加協定書	0.0	0.0	0.0
	シンガポールとニュージーランド、デジタル経済連携協定(DEPA)	-	-	-
	合計31協定(65カ国)	95.2	94.9	95.4
署名済み	CPTPP	-	-	-
	パラグアイ	-	-	-
	香港、サービスの章を近代化	-	-	-
交渉中	EU、FTA深化協定	-	-	-
	EFTA、近代化協定	-	-	-
	インド、部分到達協定の拡大	-	-	-
	韓国、FTA深化協定	-	-	-
	インドネシア、CEPA(サービスの章)	-	-	-
	トリニダード・トバゴ、部分到達協定	-	-	-
	アラブ首長国連邦、〔CEPA(包括的経済連携協定)〕	-	-	-
	英国、近代化協定	-	-	-

[注] 構成比の算出には、輸出FOB価格と輸入CIF価格を使用。

①:太平洋同盟には、メキシコ、コロンビア、ペルー、チリが含まれる。

②:追加協定書は、既存の2国間FTAをベースとする広域FTA。

③:中米5カ国には、コスタリカ(2002年2月14日発効)、エルサルバドル(2002年6月1日発効)、ホンジュラス(2008年7月19日発効)、グアテマラ(2010年3月23日発効)、ニカラグア(2012年10月19日発効)が含まれ、発効日は異なる。

④:P4には、チリ、ニュージーランド、シンガポール、ブルネイが含まれる。

⑤:キューバとは、2010年11月11日に追加協定書が発効した。

⑥:メキシコ、コロンビア、ペルーについては太平洋同盟として、アルゼンチン、ウルグアイ、ブラジルについてはメルコスールとして構成比は計算される。

[出所] チリ国内法規およびSUBREI資料などから作成

効した。DEPAはデジタル経済発展のための最新課題を盛り込んだ先駆的な貿易協定として注目を集めており、すでに中国やカナダが加盟申請を行い、韓国も加盟の意向を示している。CPTPPについては、数年にわたって国会での審議が滞っているものの、2022年3月に36歳の史上最年少で就任した左派ガブリエル・ボリッチ大統領より、その議論の再開時期について、現在チリで行われている新憲法制定に係るプロセスの終了後を予定している、という発言がなされた。ボリッチ大統領は当初、FTAについては見直しが必要という発言をしていたものの、2022年中の何らかの進捗が期待されている。

■エネルギー分野への投資がさらに拡大

M&Aの調査を行っているランドマーク (Landmark) の発表によると、2021年のM&A案件総数は103件で、前年比7.3%増となった。うち、エネルギー分野への投資が22件と最多で、次いで不動産16件、鉱業13件、テクノロジー11件、金融サービス11件と続く。金額が公表されている中で最大の案件は、中国の国家电网が、国内の電力消費者の43%をカバーするチリの最大手電力会社CGEの株式97.145%を買収した案件で、投資額は30億5,700万ドルだった。同社は2020年にもチリ配電大手チルキントを22億6,300万ドルで買収しており、チリ国内でのプレゼンスを高めている。他には米ウーバー・テクノロジーズが、食料品の買物代行サービスを提供するチリ発スタートアップのコーナーショップの株式53%を4億5,900万ドルで買収し、その後、残りの株式47%をウーバーの自社株2,900万株と引き換えに買収した案件などがあった。日系企業による買収案件では、三菱マテリアルがアタカマ州にあるマントベルデ銅鉱山の権益30%を取得した案件や、三井物産が鉱業や車両管理の分野において同社の持分を増加させるなどの動きが見られた。

表4 チリの主な対内直接投資案件 (2021年)

(単位: 100万ドル)

業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要
エネルギー	国家电网	中国	2021年7月	3,057	国内の電力消費者の43%をカバーするチリの最大手電力会社CGEの株式97.145%を買収。
	アルファ・デサロジョ	オランダ / チリ	2021年9月	1,185	オランダの年金基金APGが80%、チリのセロス・レデスが20%の株を所有しているアルファ・デサロジョはコルブン・トランスミッションを買収。
	アロヨ・エナジー	米国	2021年8月	324	ガスマルの株式100%を買収。
	イネルジェックス	カナダ	2021年7月 2021年8月	41 71	18MWの水力発電所を運営するエンブレサ・エレクトリカ・リカンを買収。 再生可能エネルギーのエネルヒア・ジャイマの残りの株式50%を買収。
金融サービス	ノバ・スコシア銀行	カナダ	2021年5月	407	スコシアバンクチリの株式7%を新たに取得。同社の持分は83%に増加。
	ペモビ	ブラジル	2021年8月	38	新興国でマイクロクレジットを提供するチリのティアクサを買収。
鉱業	三菱マテリアル	日本	2021年2月	275	マントベルデ銅鉱山の権益30%を取得。
			2021年3月	非公開	三井金属が保有するコジャワシ銅鉱山の権益0.97%を取得。同社の持分は12.0%に増加。
車両管理	三井物産	日本	2021年11月	非公開	チリ最大手フリートマネジメント事業会社アウトレントス・デル・パシフィコを傘下に持つインベルシオネス・ミッタの株式11%を取得。三井物産の持ち株は49%から60%に増加。
資産管理	パトリア・インベストメンツ	ブラジル	2021年12月	315	モネダ・アセット・マネジメントを買収。
テクノロジー	ウーバー・テクノロジーズ	米国	2021年1月 / 8月	459 / 非公開	ウェブサイトやアプリを通じて食料品の買物代行サービスを提供するコーナーショップの株式53%を4億5,900万ドルで買収、翌8月に残りの株式47%をウーバーの自社株2,900万株と引き換えに買収。
セキュリティ	ケルベロス・サイバー・センチネル・コーポレーション	米国	2021年12月	31	アルカビア・ネットワークスを買収。

[注] 業種別に表示。

[出所] 各社発表および報道などから作成

■対日貿易は輸出入共に増加

チリ側の統計によると、対日貿易は、輸出が前年比13.8%増の72億5,200万ドル、輸入が77.2%増の21億8,900万ドルで、日本はチリにとって3位の輸出先、7位の輸入元だった。主な対日輸出品は銅

鉱で、62.0%のシェアを占める。他の上位品目である太平洋サケ（冷凍、頭・はらわた抜き）やモリブデン精鉱は、前年比でそれぞれ12.5%増、81.6%増となった一方で、トラウト、大西洋サケ（冷凍、フィレ）、木材チップ（ユーカリ・グロビュラス）は減少した。

主な対日輸入品は、乗用車及びその関連製品で、これらの品目は前年から大きく増加した。他にも、前年にはなかった貨物船及び貨客船や、輸入量がわずかだったセメントクリンカーの輸入が増加した。

表5 チリの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2020年		2021年			2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
銅鉱 (精銅を含む)	3,800	4,497	62.0	18.3	乗用車 (1500cc超3000cc以下)	349	600	27.4	72.0
太平洋サケ (冷凍、頭・はらわた抜き)	503	566	7.8	12.5	軽油、ディーゼル油	57	259	11.8	354.1
モリブデン精鉱 (焼いたもの)	253	460	6.3	81.6	タイヤ (建設、産業車両用)	106	139	6.3	30.3
トラウト (冷凍、フィレ)	230	162	2.2	△ 29.3	シャシー (トラック用、有効積載量2トン超)	40	121	5.5	204.5
太平洋サケ (冷凍、フィレ)	98	137	1.9	39.9	鉄・非合金鋼のフラットロール製品 (厚さ3mm未満)	37	98	4.5	166.4
リチウムの炭酸塩	98	92	1.3	△ 5.9	フロントエンド型ショベルローダー (上部構造が360度回転するもの)	16	49	2.2	199.7
木材チップ (ユーカリ・グロビュラス)	128	83	1.1	△ 35.0	乗用車 (1000cc超1500cc以下)	32	41	1.9	28.3
豚肉 (冷凍、骨なし)	72	81	1.1	12.1	硫酸及び発煙硫酸	20	33	1.5	64.7
ウニ (冷凍)	95	74	1.0	△ 22.1	乗用車 (3000cc超)	16	32	1.5	97.6
大西洋サケ (冷凍、フィレ)	97	71	1.0	△ 27.4	貨物自動車 (有効積載量2トン超)	18	30	1.4	63.6
木材チップ (ユーカリ・ニテンシ)	68	62	0.9	△ 8.1	セメントクリンカー	3	30	1.4	942.9
鉄鉱	0	61	0.8	全増	フロントエンド型ショベルローダー	15	28	1.3	91.2
木材 (松、針葉樹)	40	58	0.8	47.2	ブルドーザー及びアングルドーザー (無限軌道式のもの)	12	22	1.0	84.8
化学木材パルプ (針葉樹のもの)	35	58	0.8	66.4	その他の貨物船及び貨客船	-	21	1.0	-
ぶどう酒 [注]	39	33	0.5	△ 15.6	鉄鋼製のストーブ (液体燃料用のもの)	13	18	0.8	36.9
合計 (その他含む)	6,374	7,252	100	13.8	合計 (その他含む)	1,235	2,189	100	77.2

[注] HSコード22042168の品目
[出所] チリ中央銀行資料から作成

主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：1,968万人 (2021年)			
②面積：75万6,227km ²			
③1人当たりGDP：16,070米ドル (2021年)			
④実質GDP成長率 (%)	0.8	△ 6.0	11.7
⑤消費者物価上昇率 (%)	3.0	3.0	7.2
⑥失業率 (%) (10~12月)	7.0	10.3	7.2
⑦貿易収支 (100万米ドル)	3,016	18,976	10,528
⑧経常収支 (100万米ドル)	△ 14,505	△ 4,283	△ 20,307
⑨外貨準備高 (100万米ドル)	40,643	39,151	51,238
⑩対外債務残高 (100万米ドル)	198,396	209,591	239,002
⑪為替レート (1米ドルにつき、チリペソ、期中平均)	702.9	792.73	758.96

[注] ①③：推定値、④：2019年は暫定値、2020年は速報値、⑤：2018年=100とした場合の値、⑥：推計値、⑦：国際収支ベース (財のみ)、輸入はFOBゆえ表1、2と数値が異なる

[出所] ①⑤⑥：チリ統計局 (INE)、②チリ国会図書館データから算出、③⑨⑩：IMF、④⑦⑧⑩：チリ中央銀行

(お問い合わせ先)

海外調査部 米州課

ORB-latin@jetro.go.jp